

2017年1月

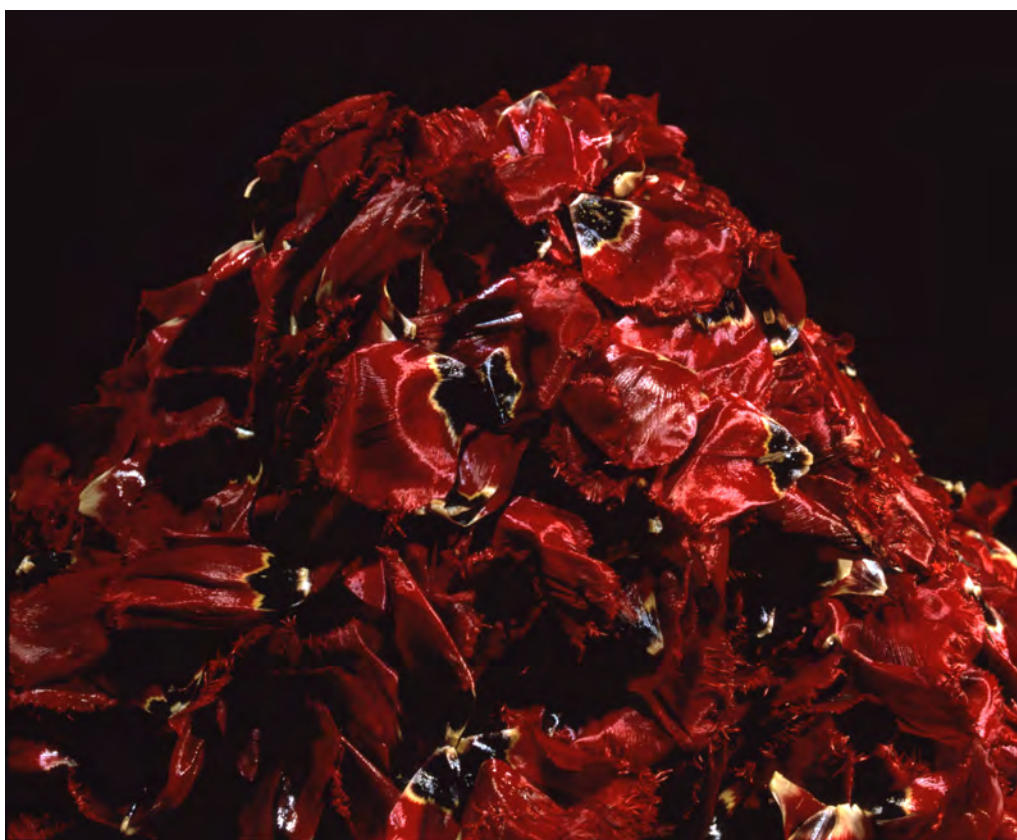
プレスリリース

展覧会

開館 25 周年記念 MIMOCA コレクション じつはいろいろあるんです！

2017年2月25日（土）-5月28日（日） 会期中無休

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



中川幸夫《魔の山》1989年（再制作2001年） ©中川幸夫

【お問い合わせ及び資料のご請求先】
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
展覧会担当=松村円
〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1
Tel. : 0877-24-7755 / Fax. : 0877-24-7766
E-mail : press@mimoca.org

開館 25 周年記念

MIMOCA コレクション じつはいろいろあるんです！

【概要】

展覧会名：開館 25 周年記念 MIMOCA コレクション じつはいろいろあるんです！

会期：2017 年 2 月 25 日（土）-5 月 28 日（日）会期中無休

時間：10：00-18：00（入館は 17：30 まで）

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

観覧料：一般 950 円（760 円）、大学生 650 円（520 円）、高校生以下または 18 歳未満・丸亀市在住の 65 歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

- ・ 同時開催常設展「猪熊弦一郎展 じつにいろいろ描きました」観覧料を含む
- ・ （ ）内は前売り及び 20 名以上の団体料金

前売券販売場所：

〔丸亀〕あーとらんどギャラリー（0877-24-0927）、オークラホテル丸亀（0877-23-2222）

おみやげSHOP ミュー（0877-22-2400）、きままや（0877-22-9361）

【展覧会趣旨】

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は 1991 年 11 月の開館以来、「猪熊弦一郎（1902-1993）の画業の顕彰」、「今に生きる私たちの心に響く現代の優れた美術の紹介」という二つの方針のもと展覧会を開催しています。この 25 年間にわたる活動のなかで、猪熊の作品や、当館で開催した展覧会に関わる作家の作品を寄贈・寄託されるようになり、開館時、猪熊本人から寄贈された作品で成り立った当館のコレクションが、いっそう充実してきました。收藏された各作家の代表作や、飛躍するきっかけとなった作品の数々は魅力にあふれるものばかりで、また、それぞれの作家がどういった制作を経て現在へと至ったかを知れる、とても興味深いものでもあります。さらに、これら作品の收藏経緯は当館での展覧会と連動していることが多いことから、一堂に会した作品を通して現代美術館としての当館の活動を知っていただき、これからも美術を楽しむ場として MIMOCA に親しんでいただきたいと思います。優れた作品の数々でありながら、まとまって紹介される機会がなかった当館コレクションを、開館 25 周年を記念して公開します。

【見どころ】

1. 2000年代以降の現代美術作品が、絵画や彫刻、写真といったカテゴリーにしばられることなく、時々の社会を反映したり、それまで当然とされていた認識をくずしながら、いかに新しい表現を切り開いてきたかがよく分かります。
2. コレクションのなかでも写真は、いけばな作家である中川幸夫の写真作品をはじめ、石内都、杉本博司から、ホンマタカシ、鈴木理策、やなぎみわ、野口里佳まで、錚々たる写真家の作品が並びます。いずれも代表作や新境地を開いた作品で、それぞれの個性が光ります。
3. 丸亀市出身の中川幸夫、中山ダイスケの作品や、丸亀市で滞在制作をした秋山さやか、小金沢健人の作品など、丸亀市に縁のある作品を出品します。

【関連プログラム】

・キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（松村円）が展覧会をご案内します。

日時：会期中の毎日曜日 14：00-（ただし他の展覧会関連プログラム開催時を除く。）

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です。）

申込：不要（1階受付前にお集りください。）

※ この他にも関連プログラムを予定しています。決まり次第、当館ウェブサイト (<http://mimoca.org>)にてお知らせします。

【出品作品】

作家名	《作品名》（制作年） 技法・材質	関連展覧会（開催年）
中山ダイスケ	《FULL CONTACT “White Ring-0”》（2001） アクリル絵の具・カンヴァス、木	中山ダイスケ展「FULL CONTACT」（2000）
野口里佳	《ロケットの丘 #4》（2001） ライトジェットプリント	MIMOCA'S EYE VOL.1 野口里佳展 [予感]（2001）
やなぎみわ	《寓話シリーズ 眠り姫》（2004）、《寓話シリーズ グレーテル》（2004） ゼラチン・シルバー・プリント	やなぎみわ [少女地獄極楽老女]（2004）
中川幸夫	《魔の山》（1989、再制作 2001） 写真	花人 中川幸夫の写真・ガラス・書-いのちのかたち（2005-06）

須田悦弘	《雑草》(2006) 木に彩色	須田悦弘展 (2006)
秋山さやか	《丸亀の広島をまわるめぐる 2008 年 9 月 24 日》(2008) 絹糸、とじ糸、ししゅう糸、リリヤーン、ボタン、栗の皮、アクセサリーシールなどなど…丸亀市広島でみつけた素材・色画用紙にインクジェットプリント	時間の形 (2008-09)
小金沢健人	ドローイング (2009) クレヨン、オイルパステル・紙	MIMOCA' S EYE vol. 2 小金沢健人展 動物的 (2009)
杉本博司	『海景』シリーズより ゼラチン・シルバー・プリント	杉本博司 アートの起源 宗教 (2011)
ホンマタカシ	《Together: Wildlife Corridors in Los Angeles》(2006-2008) より タイプCプリント、インクジェット出力、フレーム	ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー (2012)
石内都	『絹の夢』シリーズより タイプCプリント	石内都 絹の夢 (2012)
鈴木理策	《Étude 10, F-5》(2010) 発色現像方式印画	鈴木理策写真展 意識の流れ (2015 年)
猪熊弦一郎	油彩画、デッサンなど	

ほか

【展覧会のお知らせ】

[同時開催常設展]

猪熊弦一郎展 じつにいろいろ描きました

2017 年 2 月 25 日 (土) - 5 月 28 日 (日) 会期中無休

[次回開催企画展]

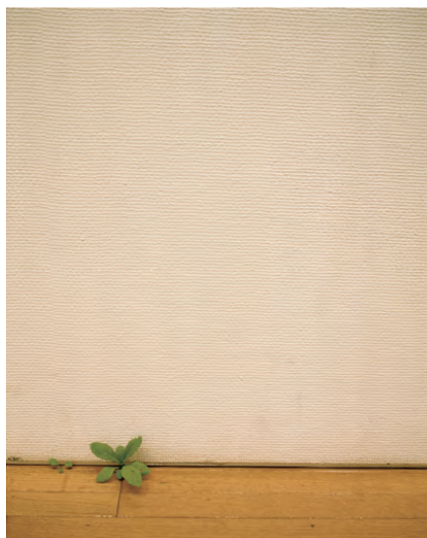
志賀理江子展 ブラインドデート

2017 年 6 月 10 日 (土) - 9 月 3 日 (日) 会期中無休

【参考図版】



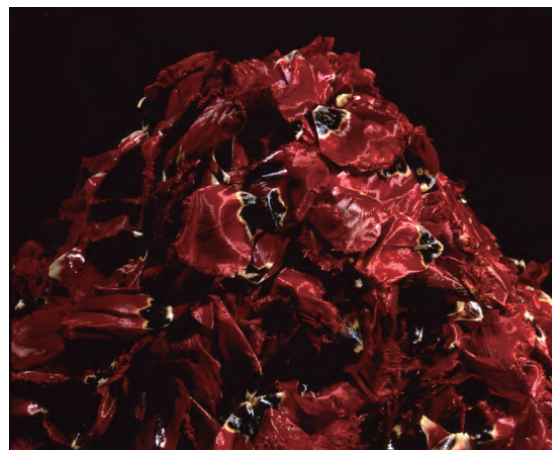
小金沢健人《題名不明》2009年
©Takehito Koganezawa



須田悦弘《雑草》2006年
©Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagi



鈴木理策《Étude 10, F-5》2010年
©Risaku Suzuki



中川幸夫《魔の山》1989年（再制作2001年）
©中川幸夫



ホンマタカシ《Together: Wildlife Corridors in Los Angeles》2008年 ©Takashi Homma

※広報用画像をご希望の際は、当館ウェブ上のプレス用ページ（<http://www.mimoca.org/ja/press/>）よりお申し込みください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。